鎌倉の 温古堂
創業弘化四年
仏壇・仏具・御宮
神具・香・香炉
フーフでナムナム
☎〇四六七(22)七六七六

11月1日号
2024年(令和6年)
第548号
毎月1日発行
(一部税込み110円)

鎌倉朝日

朝日新聞の姉妹紙
http://kamakura-asahi.com
©発行所 鎌倉朝日新聞社☎0467-24-8553 FAX 23-1205
〒248-0007 鎌倉市大町2丁目8番13号2-202

お宮参り・七五三の会食は
鎌倉 峰本
八幡宮前・小町通り・十二所神社前
本店 電話 0467-22-4431

人と地域をつなげる「ここかま」
10月に市民団体と交流会

自らが望む形で人・地域・社会とつながり、誰も孤立することなく安心して自分らしく暮らすことのできる共生社会の実現を目指して、鎌倉市と鎌倉市社会福祉協議会、鎌倉市市民活動センター運営会議、きしろ社会事業会の4者が今年4月、「鎌倉市版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」を創設し、「ここかま」の通称で運営を開始している。

孤独・孤立対策の話し合い

その活動を広げようと、市内の市民団体や福祉団体に呼びかけ、10月6日鎌倉市福祉センターで、講演会とワールドカフェ形式の団体交流会が開かれ、孤独・孤立を予防する地域づくりに関心のある30団体が参加した。

初めに、川崎市の医師・西智弘さんが「社会的処方から考える人のつながり・地域のつながり」の題で講演した。

西さんは、「暮らしの保健室」や「社会的処方研究所」を運営する「一般社団法人プラスケア」を2017年に設立。「暮らしの保健室」は、医療や保健福祉の専門家と病気や健康について気軽に語り合える場で、これまでに延べ1500人以上の市民が利用している。西さんは、従来の医療の枠組みでは対処が難しい問題に対し、「地域での人のつながり」を処方する「社会的処方」を解説した。

そのあと、参加者は6班に分かれて、子育て中の女性、失業中の人、転居者、不登校の若者など、人や地域とつながっていない人のつなげ方を話し合った。各班で、話を聞くことや相談にのること、情報提供、居場所づくりをするなどさまざまな提案があった。

西さんから、話し合いの中で地名や施設名、人の名前などを具体的にあげて共有することや、鎌倉らしさ、歴史的コンテンツをつながりに活かしていくことなどの提案があった。

市では「困っている人をどうやって人や地域につなげていくか、今後も皆さんと考えていきたい」と話している。

外国人観光客の案内役
オモテナブルマークを架け橋に

年間約1200万人の観光客が訪れる鎌倉で10月15日、おもてなしの意思表示マークを活用した実証実験「I'm Omotenable!プロジェクト」が行われた。

日本でTOEICを実施・運営する国際ビジネスコミュニケーション協会（東京都千代田区、藤沢裕厚理事長）が、10月19日を「TOEICの日」と制定し、今年は困っている訪日外国人観光客と、英語に自信はないがおもてなしに携わりたい人の架け橋をして、持続可能な観光地域づくりをしようと企画した。おもてなしをする側には事前にTOEICの試験を受験してもらい、当日結果を示した証書を手渡し、意思を表す「オモテナブルマーク」を付けてもらった。

英語で道案内する前橋さん

実証実験参加者の前橋佑樹さん（26）は鎌倉駅西口改札付近でさっそく、駅に着いた外国人に話かけ、行き先や、バス乗り場を案内。事前に試験を受けて満足のいく得点だったことや、マークをつけていたことがお守りのようで自信につながったと話し、今後のおもてなしへの意欲を示した。

飲食店経営の山内宏幸さん（48）は、店にきた外国人にメニューを説明し、運ばれてきた金平糖や抹茶のこと、食べ方、飲み方などを話した。「あわてるとわからなくなるので、余裕を持てたら」といい、「マークを付けていたので積極的に対応できた」と満足顔。

同協会総務部の松田隆部長（49）は、「参加者たちの終わった後の笑顔がよかった。『通じた』という実感を得られたことが大きな成果。上手・下手に関わらずおもてなしの心が大事」と手応えを感じていた。

日常生活の足を確保
葉山で乗合タクシーの実証運行

葉山町は公共交通が不足している地域での町民の足となる乗合タクシー「はやまるタクシー」の実証実験を開始した。10月21日に役場駐車場で関係者を集めた出発式が行われ、10人の利用があった。

第1地区（長柄・堀内）は12月6日までの平日9時半～14時半を運行期間として、表示された26カ所の乗降ポイントを結び、買い物や役場、図書館、通院など生活の足を京急葉山交通が運行するワゴンタクシーで確保する。

実証運行では、乗降ポイント以外の場所での乗り降りはできず、逗子駅や逗子・葉山駅への運行はない。

「はやまるタクシー」出発式
＝10月21日葉山町役場前

利用は完全予約制で、電話か、スマホ・パソコンでの申込に応じたオンデマンド方式を用い、建設技術研究所のAI（人工知能）システムにより最適な経路を判断して巡行。8人まで乗車できる。

予約は、1週間前から乗車希望時間の30分前まで15分刻みでできる。

料金は、長柄地区内での乗降は200円、長柄・堀内間は300円。

第2地区（下山口・一色ほか）は12月9日～来年1月31日の実証運行が予定されている。

担当課によると、AIアプリを用いたオンデマンドバスの運行は藤沢市で事例があるが、交通空白地有償運送のスキームでは県内でも初の事という。

山梨崇仁町長は「町の交通の不便を解消し、葉山にふさわしい形を目指したい」と意気込む。

予約センター（フリーダイヤル・平日9～15時）☎0800・170・6600、スマホ・パソコンからはQRコードで申込。（K）

鎌倉木樹めぐり ⑧
亀岡八幡宮のケヤキ

逗子の鎮守、応神天皇を祀る亀岡八幡宮には、ケヤキやイチョウの大木が何本もあり、「かまくら三浦半島の古木・名木50選」に選ばれている。

ケヤキはニレ科の落葉高木で、高さ30～40m、幹の直径2mにもなる。樹皮は灰褐色で平滑だが、老樹になると鱗片状にはがれる。葉は互生して二列に並び、狭卵形か卵状長楕円形で、3～7㎝、縁に鋸歯がある。

日本の代表的な広葉樹の一つで、新緑、紅葉（黄葉）のみならず、箒状の樹形があらわになる冬季の佇まいにも趣きがある。

同宮は、なだらかな岡で、亀の背中のようであったというところから、鎌倉の「鶴岡八幡宮」に対し「亀岡八幡宮」と名付けられたという。逗子市役所隣の境内では、「逗子の市」（フリーマーケットと骨董市＝2面にご案内）などのイベントが開催され、地域の集いの場となっている。

文　小林千穂
写真　松原省吾

鎌倉の年中行事 11月

▼**宝物風入**　2～4日円覚寺、建長寺。虫干しを兼ねて寺宝を公開。

▼**国宝舎利殿特別公開**　2～4日円覚寺。

▼**丸山稲荷社火焚祭**　8日14時、鶴岡八幡宮境内。五穀豊穣、無病息災祈願。鎌倉神楽奉納。

▼**写真供養感謝祭**　9日11～14時、浄智寺。

▼**七五三祈請祭**　15日。女子7歳「帯解き」、男子5歳「袴着」、男女3歳「髪置き」息災と幸福祈願。

▼**新嘗祭**　23日10時、鶴岡八幡宮。収穫の感謝と国の弥栄を祈念。

▼**時頼忌俳句大会**　23日11時、建長寺。

▼**紅葉ライトアップ**　23日～12月8日長谷寺。

▼**湘南の宝石**　23日～2月28日江ノ島サムエル・コッキング苑など。

▼**一ツ火法要**　27日遊行寺。17時整理券配布。灯火を燈し仏法甦り念仏祈念。

プロムナード

子どもたちとの帰り道に「行きはよいよい、帰りはこわい」の「通りゃんせ」を口ずさんでいると、子どもから「何、その歌？」と言われました▼知っているものだと思っていたので「信号機で流れている音楽だけど、聞かない？」と返答するも、子どもたちは「？？」でした▼確かに最近は音楽が流れている交差点に遭遇しないことに気がつきました▼信号機から流れていないはずなのに、いまだに私の脳内では勝手に音楽が流れていたのかもしれません▼当たり前と思っていた風景などがいつの間にか変化していることに気づかされたと同時に、「今」も歴史の一部であると認識させられたことで様々な方法で記録を残していけたらと思いました。（N）

鎌倉名産 梅花はんぺん
井上蒲鉾店
http://www.inouekamaboko.co.jp/

好評販売中
湘南しらすチップ

大森商店
KAMAKURA ZAIMOKUZA
since 1951
☎0467-22-2626
https://www.e-omori.com/

明治37年創立
学校法人 鎌倉女学院
中学校・高等学校
心身ともに健康で
国際性豊かな人間教育
〒248-0014 鎌倉市由比ガ浜2丁目10番4号
電話(0467)25-2100(代表)

みらいふる鎌倉
鎌倉市老人クラブ連合会
創立60周年大会
日時：11月14日(木)13時～16時50分
会場：鎌倉生涯学習センター
第1部　式典(13：00～)
式辞　表彰式
感謝状授与式　来賓祝辞
第2部　記念講演(14：00～14：30)
「生きがいと健康づくり」
鎌倉市健康福祉部長　鷲尾礼弁さん
第3部　記念落語会(14：50～16：50)
桂　歌助さん(真打)
小梅美ゆ紀さん(三味線俗曲)
桂　れん児さん(前座)
申込・問合せ
鎌倉市社会福祉協会 ☎0467・23・1075